

学校だより

翔 空

No. 8 平成23年 6月23日(木)
郡山市立喜久田中学校長 川島 宏

「翔空」の由来

校舎のシンボル

壁画「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え、限りない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

親子奉仕作業 6月18日(土) 6:30~



ありがとうございました！

お休みのところ早朝から、多くの保護者ごき参集いただき、効率よく作業ができ、感謝に堪えません。公民館体育を保護者が清掃してくれただけで、20日(月)早速業者が入って床のワックス塗布が行われ、22日から使用できるようになりました。また、中体からプールまでの芝を剥がしたところに、芝桜500株を植栽しました。来年の春が楽しみです。今年はお父さん方の参加がとて多く、草刈り・下枝伐採・植木の剪定・体育館裏のJR線路斜面の下草刈り等、広範囲にわたり作業をしていただき、見違えるようにきれいになりました。心より感謝いたします。生徒達も保護者の皆さんに負けないよう、校舎内・体育館をきれいに清掃してくれました。以前より、さらに学習環境が整いました。暑さに負けず頑張ります。



市・県中地区中体連 総合大会終了



市中体連大会は、6月7日～9日にかけて市内各会場で実施されました。今年度は震災や放射線の影響で、練習も十分にできませんでした。特に、外の部活動は、校庭が使えなかったのが5月中旬からと、ハンディを背負っての戦いでしたが、善戦してくれました。会場も学校を使用するため、駐車場の確保ができませんでした。関係者もありがとうございました。私もPTA会長さんと西田中から日和田会場で市内各中学校・サベリオ・西部場・サカエに渡ったため、試合が終わって残念な中、6月15・16日開催された県中地区大会に、剣道とバドミントン男子の団体が出場してくれました。出場はなりませんでしたが、精一杯頑張ってくれました。まだ、福島県陸上競技大会が残っており、3朝練で頑張っています。応援をよろしく！



「なぜか間違える日本語」から

好評につき第9弾(青春出版社)

【ついつい使ってしまう重複言葉】

- 1 まだ未定：未定
- 2 第1日目：第1日
- 3 まず最初に：最初に
- 4 各位殿：各位
- 5 従来から：従来
- 6 以前からの懸案：懸案
- 7 炎天下のこと：炎天下
- 8 沿岸沿い：沿岸
- 9 加工を加える：加工する
- 10 不快感を感じる：不快感を抱く



- 「未定」には「未だ定まらず」という意味があるので、すでに「まだ」という意味が含まれている。
- 「第」と「目」は、物事の順序を表す同じ意味の言葉。「第1日」か「1日目」と、どちらかを省くのが正しい。

校庭表土の再除去作業修了 【地域・保護者の皆様へ】

6月14日(火) 8:30~18:00まで、表土の除去作業が行われました。今回は表土を二度三度と削りながら、数を測る作業を行いました。結果、0.3~0.7、平均すると0.5程度に半減しました。削った土は、17日・18日・20日に、現在と同じところに深さ1.5mの穴を掘り、除去した土を遮断シートで包み、掘る上に掘った土を1.0m程かぶせて固めました。現在、校庭の表面は凹凸ができません。硬くなっているため、山砂を入れての整地作業も後日予定されています。その際に土盛りした上にも、猪苗代の山砂をかぶせる処置をお願いしました。なお、体育館からプールまでの芝は、除去してもらいました。



※「なぜか間違える日本語」正解は右側